

フェムテック業界の
未来を語る会
in 鹿児島



一般社団法人
日本フェムテックマイスター[®]協会
Japan Femtech Meister[®] Association



開催概要

フェムテック業界の未来を語る会 in鹿児島

都心と地方では、女性の働き方やライフスタイルが大きく異なります。従事する職種はもちろん、会社の制度やケアサービスの充実度、社会規範…。いまだ女性の活躍が進まない鹿児島において、女性の健康課題に関する正しい知識を広め、フェムテックを振興していくには何が課題となるのか、そして鹿児島の現状を知ってもらうために開催しました。

日時

2024年2月17日（土） 17:00～18:30

会場

シェラトン鹿児島 Ballroom A
(鹿児島県鹿児島市高麗町43-15)

プログラム

基調講演『鹿児島から女性活躍で日本を変える』
自民党フェムテック振興議員連盟 事務局長 宮路拓馬 衆議院議員

パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』
Femtech friends KAGOSHIMA 代表
依田はるか様／福元佑子様



一般社団法人
日本フェムテックマイスター® 協会
Japan Femtech Meister® Association



会場



◀日本フェムテック
マイスター協会と
協会理事たちの
出版物のご紹介

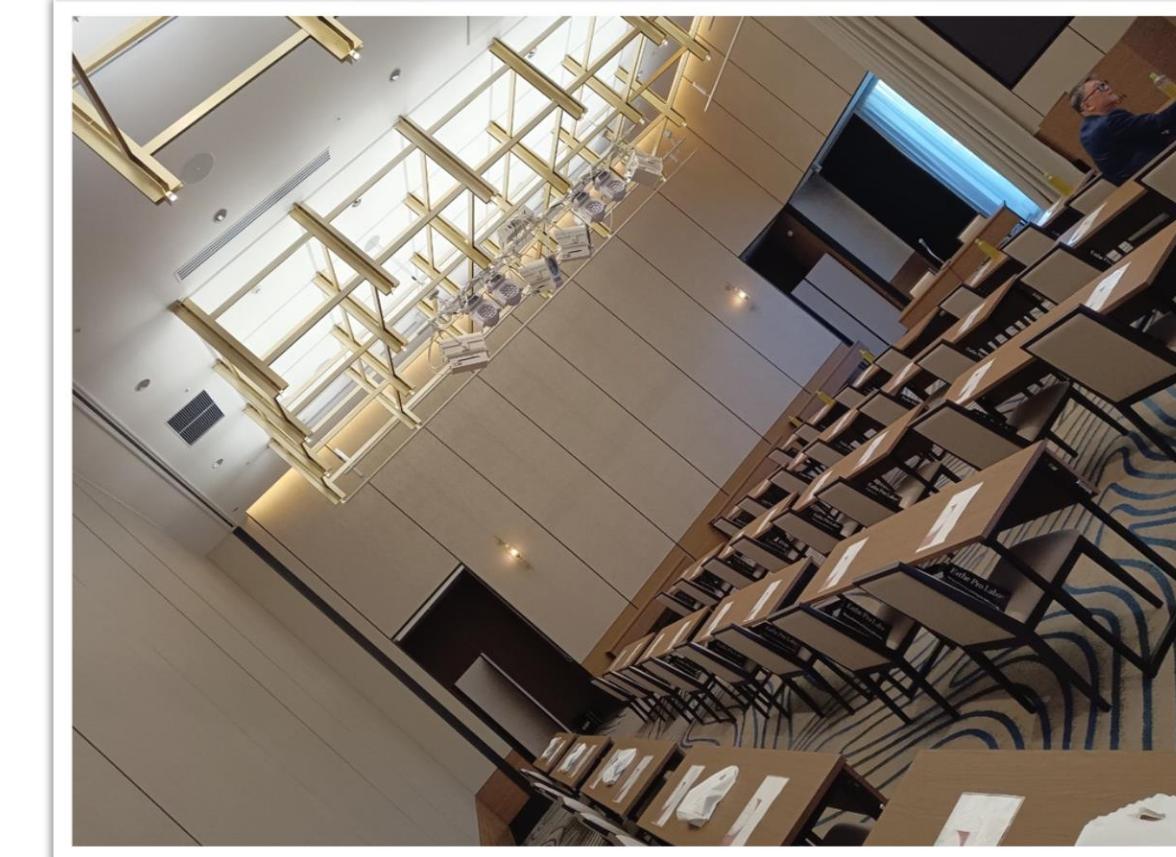


◀贊助会員様のフェムケアグッズご紹介

- * エステプロラボ
Gran Feminシリーズ、クリルオイルグランプロ
- * mycy / マイシー
セルフケアハーブティー
- * 株式会社ピエラス
P.A (プライベートエリア) シートパック
- * 株式会社ケンユー
GRANPERINE (グランペリネ)



一般社団法人
日本フェムテックマイスター®協会
Japan Femtech Meister® Association



◀40席の広々とした
明るい会場

大迫力で美しい
LEDビジョン ▼





開会



参加者

地元鹿児島のみなさまに加え、遠方からもお越しいただき、約40名にご参加いただきました。
また、5社のメディアに取材いただきました

開会あいさつ

代表理事ふちいく子より、開会のごあいさつと協会の紹介をいたしました。



一般社団法人
日本フェムテックマイスター®協会
Japan Femtech Meister® Association



基調講演『鹿児島から女性活躍で日本を変える』

講師

自民党フェムテック振興議員連盟 事務局長
衆議院議員

宮路 拓馬 氏



1979年生まれ、鹿児島県出身。

東京大学法学部を卒業後、2014年の衆議院議員総選挙で全国最年少で初当選。

2021年10月衆議院議員総選挙で3期目の当選を果たし、第2次岸田内閣において内閣府大臣政務官に就任。

「多様で公正な社会を目指す」という信条のもと、鹿児島の産業に直結する問題に対し積極的に取り組む一方、女性の生理・更年期の問題をテクノロジーの方面からアプローチするフェムテックなど、従来ではタブー視されがちな問題に対し真正面から取り組まれており、フェムテック振興議員連盟の事務局長を務める。



一般社団法人
日本フェムテックマイスター® 協会
Japan Femtech Meister® Association



基調講演『鹿児島から女性活躍で日本を変える』

—多くの女性たちは「仕方がない」「諦める」「一人で抱え込む」それしか選択肢がなかった

“フェムテック”という言葉があらわれて、それが生理、妊娠・出産・不妊治療、あるいは更年期の辛さや悩みをテクノロジーの力で解決しようと。現にこうしたサービスやプロダクト製品が海外では多く開発され普及してきている。

特にメディアの力は大きく、多くの女性記者に取材にきていただき、メディアの中で発信していただきました。

—やはりまだ壁はある

“フェムテック”を使って、企業でも女性の健康課題に対する福利厚生を充実していきたいという要望があっても経営陣が理解してくれない。という声が多く寄せられます。

なぜならば、経営陣はほとんどが男性で占められているからです。現場ではみんなが必要だと思っていても、それを上にあげると理解されないという現実がまだある。





基調講演『鹿児島から女性活躍で日本を変える』



一女性がひと月のうちにフルパフォーマンスを発揮できるのはわずか10日程度にすぎない

衝撃を受けました。それはとってもアンフェアなことだと。アンフェアを是正するのが政治の役割だと思っていますので、これは絶対取り組まないといけないと思ってフェムテック議連をたちあげたんですけど、それを解決するためのサービスを迅速に取り入れなくてはいけないと思って取り組んできました。

一女性のQOLだけでなく、日本経済がこれからどう世界から評価され経済発展していくか、という問題

管理職になろうとしても、月経痛がつらくてキャリアを重ねられない。不妊治療がつらくて仕事との両立が図れず、仕事を辞めざるをえない。仕事をバリバリやりたいのに、更年期で体の調子が悪くて昇進の機会を逃してしまう…。いくら採用を増やしても女性の管理職、その先の経営者層はなかなか育たない。日本はいつになっても女性の経営者層が増えないとなると、世界の投資家たちから見放されてしまう、という危機感があり、フェムテックの普及を図っているところです。



一般社団法人
日本フェムテックマイスター® 協会
Japan Femtech Meister® Association



パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』



パネラー

FEMTECH friends KAGOSHIMA 代表
株式会社日美ワークス

依田 はるか 様

神戸出身。2018年より神戸、鹿児島の2拠点生活をされ、2022年に鹿児島オフィスを設立。桜島育ちのお爺さま創業の事業を受け継ぎながら、現在は商業施設や広告の企画制作に携わる。鹿児島県「生理の貧困」支援のためのガイドブック・啓発リーフレットの制作チームへ参画した経験から、鹿児島のフェムテックの重要性について発信する活動をスタート。

パネラー

フェムテックKAGOSHIMAクリニック 院長
福元 佑子 様

徳島県出身、2017年に鹿児島へ移住。

「鹿児島の女性がもっと過ごしやすく、もっと生きやすい世の中にしたい。」という思いから、2022年、月経や性の悩みなどを気軽に相談できる学校の保健室のような、女性のための『フェムテックKAGOSHIMAクリニック』を開業。



一般社団法人
日本フェムテックマイスター® 協会
Japan Femtech Meister® Association



パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』

テーマ1 ここ鹿児島でフェムテックを訴えることの重要性・課題を感じていること

—まだ鹿児島の地場には伝わってきていなかったというのが実感。（宮路）

徐々に普及はじめましたというのは、正直ほとんどが東京に本社を置く大企業ですから、まだまだ鹿児島の地場には伝わっていないというのが実感です。

ただ、フェムテック議連の提言を受けて経済産業省が作ってくれたフェムテック実証事業に、鹿児島の企業も申請をしてくれまして。女性の健康課題が経営上どういう影響を及ぼすかという調査を受けて、鹿児島銀行が設けていた生理休暇が、ほとんど使われていないという実態が明らかになって、“ウェルネス休暇”という形で、生理痛だけでなく、更年期や親御さんの介護のとき、男性でも病院にかかるなければいけないとき、様々なウェルネスのために取得できるような制度に変えてくれたんです。ちょっとずつそういう企業が増えてくれば変わってくるんじゃないかな、と思います。





パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』

テーマ1 ここ鹿児島でフェムテックを訴えることの重要性・課題と感じていること

—『風の人』外からの出身の人がタブーを破ることが必要（依田）

フェムテックを最終的に落とし込む必要があるのは、家族と一緒に過ごすママたち、お仕事をしている女子たちが最終的に使っていくものであると思うんです。

そのために、わたしがフェムテックについて発信をしていきたいってなった時に、インフルエンサーに相談したところ、

「はるさん、それ大事だけどわたし生理のことインスタに載せれないよ、ちょっとタブーです。」と。

…ってなったときに、まずはわたしがやってみよう。

(なぜわたしが) こういったタブーをうまく破ることができていいかというと、わたしは鹿児島人ではないからです。『風の人』外からの出身の人がタブーを破ることが必要なんじゃないかな、と思うんです。何が正解かはわかりませんが、ちょっとチャレンジしてみようと思っている次第です。





パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』

テーマ2 男性からフェムテックへの理解を得るには

一数字で客観的に議論することが大事（宮路）

経済産業省が試算した数字によりますと、女性特有の健康課題によって生じている経済的損失が年間で6.37兆円に及ぶという試算が示されています。

…これを訴えると目の色が変わるんですね。女性の辛さを軽減するんだというだけでなく、それが経済的にどういう意味を持つのかを合わせて訴えると。

…男性からフェムテックへの理解を得るには、数字で客観的に議論することが大事だと思います。

一お互い困っていることがあったら相談しあって頼りあう（福元）

そもそも学校で教育を受けてきていないと思うんですね。知らずに大人になってきているので、どういう風に声をかけたらいいか、どういう風にサポートしたらよいかわからなくて当然だと思うので、知識をつけようということで。…女性はもちろん男性も大事で、男性にも更年期があります。どうしても理解されないことが多いんですが、そういうことも知っていれば「大丈夫？」と声をかけることができると思うんですね。

…男性から理解を得るっていうのもそうですが、女性自身もひとそれぞれ悩みが違いますので、お互い困っていることがあったら相談しあって頼りあうっていうのがいいのかなって思います。





パネルディスカッション『地方におけるフェムテック振興』

テーマ2 男性からフェムテックへの理解を得るには

一性別関係なく思いあえる未来を創る（依田）

管理職の方には、お金の話も織り交ぜながら、からだのところは、女性だけじゃないよっていうように男性に置き換えて話をして、それを女性にも戻さないといけないと思うんですよ。女性ばかりが優遇されて配慮されて優しくされてではなくて、男性にもそういった日もあるよって。

男性ホルモン崩れがちみたいな報告って少ないなと思っていて、そこもうまく打ち出して、正しくお伝えできればなぁと思っております。



一最後にちょっとだけフェムテックの話をする（ふち）

これから大活躍される女性管理職、もしくはその卵の方たちに、自分のことをコントロールする、そういう風に言われない自分を作ることがすごく大事だな、と思います。

…フェムテックの観点からではなく、男性管理職または経営者向けに女性管理職育成セミナーを開催しています。ここでは女性の働く意欲をどうやって育てるか、男性更年期の話、最後にちょっとだけフェムテックの話をします。そうすると、家に帰って奥様に優しくしてみようかな、とおっしゃるんですね。そうやって少しずつフェムテックというものを拡散していくので、ぜひ男性にも理解していただけるとよりよい世界が生まれるんじゃないかな、と思っています。





来賓ごあいさつ

鹿児島県議会議員
米丸まき子 様

「もっと、楽しい人生が送れる。」
「もっと、健康で長生きできる。」
「もっと安心して暮らせる。」
をビジョンとして精力的に活動



一多様性の重要さって何かって、
混ざることだと思うんですよ。

…お好み焼きって水と小麦粉、キャベツとか色々入れたらおいしいじゃないですか。みんなで混ざり合って社会を創っていったら、もっともっと楽しいものになるんじゃないかなって思っています。
…鹿児島には、いまだに女性の進学率や職業の偏りがあるんですよね。女子は学力は知らないよ、短大でいいんじゃない、とか。鹿児島県の女性の職業は、医療福祉が30%、小売りが15%をも占めており偏りがあるんです。看護師や福祉の世界では、女性が多いため生理痛などの症状を訴えやすい。でも、例えば男性しかいない（職場）で「今日生理痛が...」って言いにくいんですよね。さらに上司が男性だったらなおさら言いづらいですよね。
…残念ながら、鹿児島は女性の活躍が日本最下位という数字が出ているんですが、これはチャンスだと思うんです。最下位ってあとは上るだけですので。ぜひみんなで、政治と民間とで混ざりあって鹿児島を面白くしていけたらな、と思います。



一般社団法人
日本フェムテックマイスター®協会
Japan Femtech Meister® Association



おわりに

本会の開催に当たり多大なご尽力を賜り、誠にありがとうございます。
フェムテックの振興と女性が活躍できる社会の創生に向けて尽力して
参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

自民党フェムテック振興議員連盟 事務局長
衆議院議員
宮路 拓馬 様

FEMTECH friends KAGOSHIMA
代表
依田 はるか 様
福元 佑子 様

株式会社プロラボホールディングス
佐々木 広行 様
みなさま

鹿児島県議会議員
米丸 まき子 様

シェラトン鹿児島
伊牟田 均 様
みなさま

株式会社電通九州
徳島 健 様

報道各社
みなさま

ご参加いただきました
みなさま



一般社団法人
日本フェムテックマイスター®協会
Japan Femtech Meister® Association

ありがとうございました

日本フェムテックマイスター協会 一同



一般社団法人
日本フェムテックマイスター[®] 協会
Japan Femtech Meister[®] Association